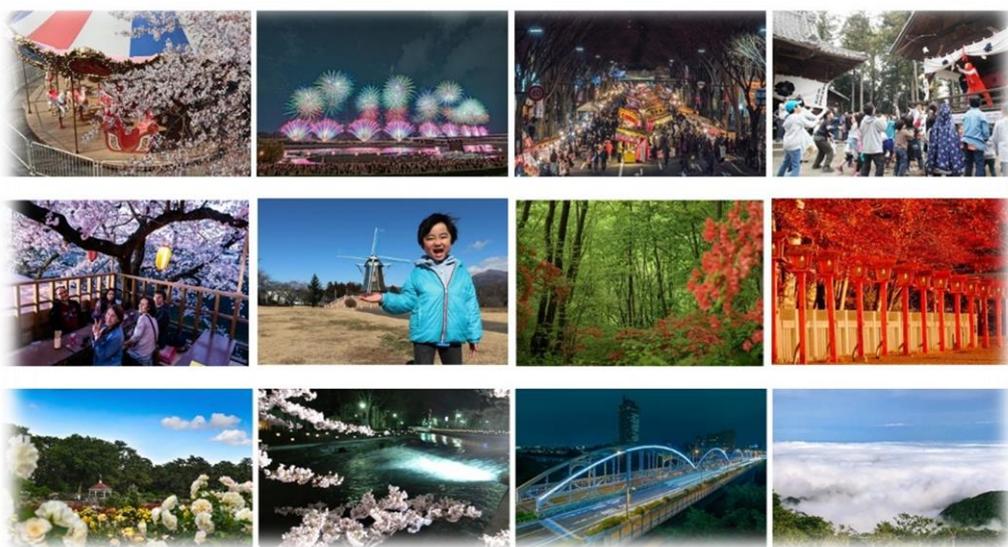


第5章

魅力あふれるまちづくり (シティプロモーション)



10年後に
目指す姿

地域の魅力を創造・発信し、
誰もが訪れ、
住み続けたいくなるまちを目指します。

重点テーマ

前橋らしさの創出

重点施策

- 1 地域資源を活かした新たな観光振興
- 2 移住・定住促進
- 3 市民主体の魅力づくりの推進
- 4 魅力的なまちづくりの推進

1 地域資源を活かした新たな観光振興



目標

前橋の持つ地域資源を活用した観光・歴史文化・スポーツ振興を推進し、まちににぎわいをもたらします

- 豊かな自然環境と地域観光資源を活かした観光振興による、外国人を含めた関係人口の増加と地域産業の活性化
- 全国に誇れる歴史文化遺産を活用した「歴史観光都市まえばし」の確立
- 優れた文化芸術拠点の活用による関係人口の増加
- スポーツ大会等の支援によるスポーツ振興と経済の活性化

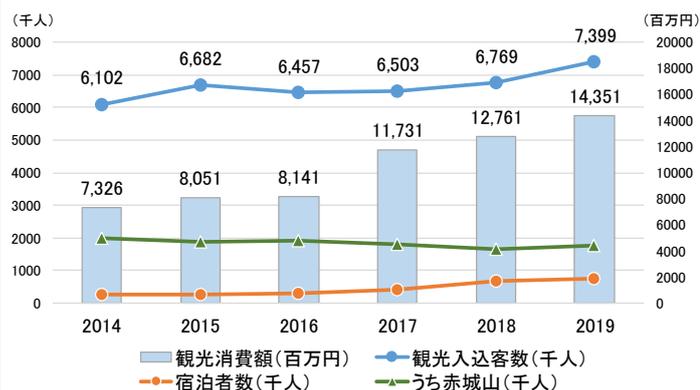
現状と課題

民間の力を活かした豊かな自然や観光資源の利用に加え、歴史文化・スポーツを活用した観光振興が求められています

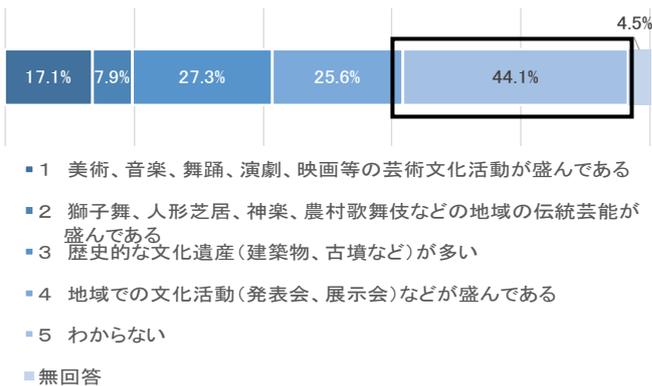
- 赤城山頂地域は県立公園であり、自然保護と調和を図った活用の必要性
- 新たな生活様式に対応したイベントの開催
- 前橋を象徴する歴史的ストーリーの顕彰・発信と歴史文化遺産の具体的な活用
- 文化や芸術に触れる機会の創出
- 健康増進や生活を豊かにすることだけではなく、観光振興や産業活性化等も含めた、スポーツが果たす役割の見直しの必要性

関連データ等

【市内観光の動向】



【市民アンケート「前橋市の文化にどのようなイメージをお持ちですか。」】



出典：群馬県観光入込客統計調査報告書

出典：2019年度 市民アンケート

施策の方向性

(1) 赤城山の観光資源を磨き上げ、また新たな魅力を発掘し、発信します

- 赤城山ツーリズムの推進
- スローシティの推進
- 官民連携による情報発信
- 新たな「道の駅」の設置推進

成果
指標

赤城山ツーリズムを通じた観光入込客数
(年間)

実績 (2016)

192.3 万人

現状 (2019)

175.9 万人

目標 (2024)

183.7 万人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 赤城山の魅力の情報発信
- 観光客に対するおもてなし
- 観光イベントへの参加

企業・団体

- 観光地域づくり法人と連携した魅力の発掘・発信
- 観光関連施設等の受入体制の充実・整備

行政

- 赤城山ツーリズムの推進母体である観光地域づくり法人赤城自然塾との連携と活動支援
- 観光施設の整備と適正管理
- SNS等による情報発信

(2) 前橋固有の歴史文化遺産と文化芸術拠点の活用により、関係人口の増加を目指します

- 前橋固有の歴史文化遺産の活用と発信
- 歴史文化遺産の持続的な顕彰作業と将来への継承
- 歴史と文化に立脚した地域づくりと前橋らしい「おもてなし」の創出
- 歴史的風致維持向上計画の策定と推進
- 前橋文学館やアーツ前橋等の文化芸術拠点の活用

成果
指標

文化芸術施設の利用者数 (年間)

実績 (2015)

438,005 人

現状 (2019)

437,405 人

目標 (2024)

494,000 人

※2016年度は市民文化会館が耐震改修工事に伴う休館のため、実績値を2015年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 本市の誇りある歴史文化の認識の向上
- 歴史と文化に立脚した個性ある地域づくりの推進
- 市外からの来客に対する語り部としての対応
- 講座やイベントへの参加

企業・団体

- 歴史と文化を背景とした個性ある商品・サービスの開発と提供
- 歴史文化イベントやおもてなし企画へのスポンサー対応
- 歴史的・文化的資源の保存に対する積極的な支援
- 文化芸術に触れる機会の提供

行政

- 魅力ある歴史文化イベントの開催
- 訪問者に対するおもてなしサービスの構築
- 歴史文化遺産を次世代に引き継ぐための体制構築
- 関連都市との相互交流の促進
- 文化芸術活動への支援

(3) スポーツ振興を図るとともに、更なる観光や経済の活性化を目指します

- スポーツ大会を通じたシティセールス
- 参加者目線による大会運営
- 関係団体と連携した大会支援
- スポーツを通じた国際交流

成果
指標

関東大会以上のスポーツイベントの
開催数・参加者数 (年間)

開催数
参加者数

実績 (2016)

29 大会

37,210 人

現状 (2019)

31 大会

31,465 人

目標 (2024)

38 大会

38,900 人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- スポーツ大会への参加
- ボランティアなどの協力
- スポーツを通じた国際交流事業への参加

企業・団体

- スポーツ大会の主催や共催による地域貢献
- 宿泊人数増加に伴う宿泊施設の充実
- 関係団体と連携した大会支援
- スポーツを通じた国際交流事業へ参加・協力

行政

- スポーツ大会への支援
- 関係団体と連携した大会支援
- スポーツを通じた国際交流事業の実施

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋観光の方向性、前橋市文化振興基本方針、スポーツ振興基本計画

2 移住・定住促進



4 質の高い教育をみんなに
8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
16 平和と公正をすべての人に

目標

移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、活気あるまちづくりを進めます

- 本市の地域特性を活かした移住・定住促進による人口減少の抑制
- 空き家を活用した移住・定住促進
- 若者の市内への定着促進による市外転出超過の改善
- 外国人住民への理解・共生

現状と課題

ライフスタイルや価値観の変化による多様なニーズに対応可能な柔軟な支援が求められています

- 地方での暮らしへの関心の高まり
- 本市の空き家率は全国平均よりも高い水準であり、今後も人口減少とともに空き家が増加する見込み
- 他世代と比較し、若年世代の市外への転出超過数が顕著
- 外国人住民の増加等に伴い、多様な価値観を認め合いながら、共生できる環境の整備を進めることが急務

関連データ等

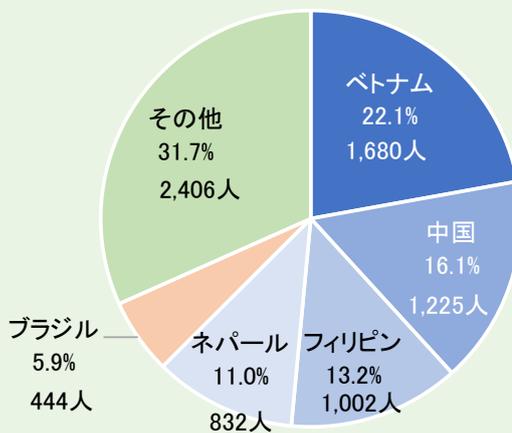
【前橋移住コンシェルジュ※1を介した移住者及び移住相談件数】



※2020年は2021年2月末現在

出典：事業実績

【在住外国人住民の国籍】



※2021年2月末現在

出典：住民基本台帳

※1 移住コンシェルジュ・・・前橋市への移住・定住をより効率的に推進するために、2015年度より市が配置している。主に、東京都内で行われる移住相談会での移住相談や前橋市への移住者の職・住に関するサポートを行っている。

施策の方向性

(1) 地域が主体となり本市の魅力伝え、個々の希望に寄り添うきめ細かな移住・定住支援を展開します

- きめ細かな支援の実施（居住・就業・子育て等の情報提供） ●移住希望者への魅力発信
- 移住相談体制の充実 ●空き家バンクを活用した移住・定住の促進

成果
指標

移住関連事業を通じて移住した人数
(年間)

実績 (2016)

55 人

現状 (2019)

47 人

目標 (2024)

73 人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 地域の魅力発信
- 移住希望者の地域への受け入れ
- 空き家の適切な管理と積極的な活用
- 空き家が及ぼす生活環境への影響の理解
- 就職支援事業の活用

企業・団体

- 企業・団体主体での PR 活動
- 移住支援体制への参画
- 空き家の活用に関する協力
- 空き家の市場流通の促進
- 求職者への情報発信

行政

- 移住希望者への情報発信
- 移住・定住支援体制の構築に向けたコーディネート
- オンラインを活用した移住相談
- 県等との連携による移住支援
- 空き家に関する情報の把握・提供
- 空き家の所有者等に対する助言・指導
- 市内外への企業情報の発信支援

(2) 若者が市内に定着するきっかけを創出します

- 市内の学生が地域や市内企業を知る機会の提供 ●市内高等教育機関の活性化
- 高校生の市内高等教育機関への進学や市内企業への就職の支援 ●企業情報の発信支援

成果
指標

住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）による 15-24 歳の市外への転出超過数（年間）

実績 (2016)

320 人

現状 (2019)

411 人

目標 (2024)

281 人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- インターンシップへの積極的な参加
- 市内高等教育機関への進学や市内企業への就職の検討
- 市内企業についての積極的な情報収集

企業・団体

- インターンシップ実習生の受入
- 企業・団体等の積極的な情報発信
- 大学等による地域に根付いた人材育成

行政

- 企業・団体と連携したインターンシップ制度の実施
- 産学官の連携強化の先導
- 市内外への企業情報の発信支援

(3) 外国人住民への理解を促進し、誰もが自分らしく活躍できる地域社会の実現を目指します

- 多文化共生・共創社会の推進 ●国際交流・相互理解の推進
- 国や県と連携した多様な主体の活躍促進

成果
指標

多文化共生・国際交流事業の参加者数（年間）

実績 (2016)

1,813 人

現状 (2019)

1,882 人

目標 (2024)

2,000 人

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 外国人との相互理解
- 多文化共生・国際理解講座等への参加

企業・団体

- 外国人との相互理解
- 外国人材の育成
- 多文化共生・国際理解講座等への協力

行政

- 多文化共生への理解促進
- 外国人相談窓口や外国語による情報提供の充実
- 多文化共生・国際理解講座等の開催

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋市住生活基本計画、前橋市空家等対策計画

3 市民主体の魅力づくりの推進



8 働きがいの
経済成長も

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

目標

前橋市の魅力を高める取組や発信を積極的に行い、地域に対する市民の誇りや愛着を向上させます

- 社会貢献活動に意欲的な企業・団体等の多様な取組による社会課題・地域課題の解決
- 本市における多様な取組の市内外への効率的な発信
- 郷土前橋を誇りに思い、市外からの来訪者や市外に向けて前橋市をPRする市民の増加

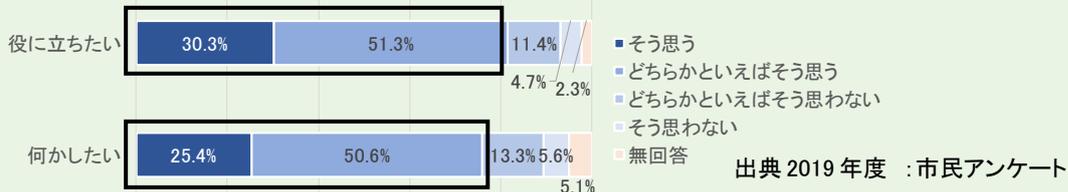
現状と課題

市民、企業・団体、行政のそれぞれが本市の魅力を認識、共有し、主体的に発信していくことが求められています

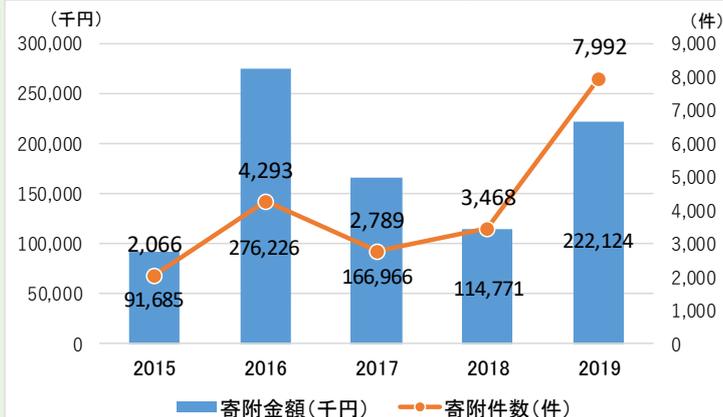
- 社会貢献活動に意欲的な企業・団体の増加
- 本市の魅力や取組が効果的に発信できていない
- 市民、企業・団体と本市の魅力の共有ができていない

関連データ等

【市民アンケート「あなたは前橋で暮らす人の役に立ちたい、何かしたいと思いますか」】



【ふるさと納税の寄附金実績】



施策の方向性

(1) 多様な主体が当事者意識を持って連携し、魅力づくりを推進します

- 民間企業や団体等と問題意識を共有し、課題の解決や地域の魅力を高める取組
- 個人や団体が主体となり社会の課題を解決する提案の支援

成果
指標

包括連携協定締結事業者との
取組件数（年間）

実績（2018）

63 件

現状（2019）

51 件

目標（2024）

80 件

※2018 年から取組件数の集計を開始したため、実績値を 2018 年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 地域課題の解決への積極的な参画

企業・団体

- 他の主体と連携した取組の推進
- 社会貢献活動やボランティア活動を通じたまちづくりへの貢献

行政

- 他の主体へ向けた働きかけ
- 企業・団体が行う社会貢献活動の支援

(2) 前橋が持つ魅力や個性を発掘、磨き上げ、各主体が連携し、横断的な情報発信をすることで、イメージ向上に繋がります

- 前橋の魅力や個性の発掘、磨き上げ、再認識
- ふるさと納税による関係人口の拡充
- 各主体が連携し、横断的な魅力を発信し、PR の好循環を生み出す

成果
指標

市民アンケートで「市民が前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを持っている。」という質問に「感じる」「やや感じる」と回答した人の割合

実績（2016）

38.7 %

現状（2019）

58.1 %

目標（2024）

66.8 %

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 市内外への前橋に関する情報発信
- 各 SNS を通じて、本市に関する情報を投稿
- 前橋の魅力の共有

企業・団体

- 所属人員への前橋に関する情報の周知
- 前橋の魅力を活かした取組の推進

行政

- 魅力や個性の発掘、磨き上げ
- 幼少期からの教育体制の構築
- 市民への情報発信
- 庁内横断的な魅力発信

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン

4 魅力的なまちづくりの推進



3 すべての人に健康と福祉を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

17 パートナシップで目標を達成しよう

目標

市民と共に考え、地域の個性を活かした市街地の整備を推進することにより、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを進めます

- 中心市街地における魅力的な都市空間の創出
- まちなか居住の促進と都市機能の誘導
- 広瀬川河畔の魅力向上

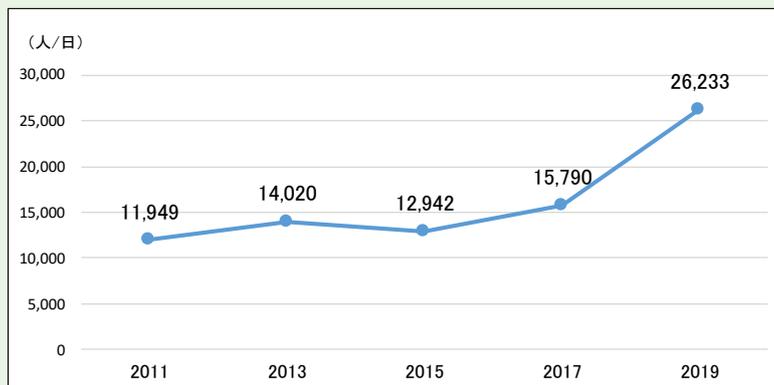
現状と課題

市内の団体同士の交流を促進し、景観に配慮した誰もが住みやすいまちづくりを市民と共に進めていくことが求められています

- 中心市街地において、民間主体のまちづくりの動きが活性化
- 民間の建築物や都市基盤の老朽化
- 太陽の鐘の設置や朔太郎生家の移築など、広瀬川周辺を前橋のシンボルとする動きが活性化

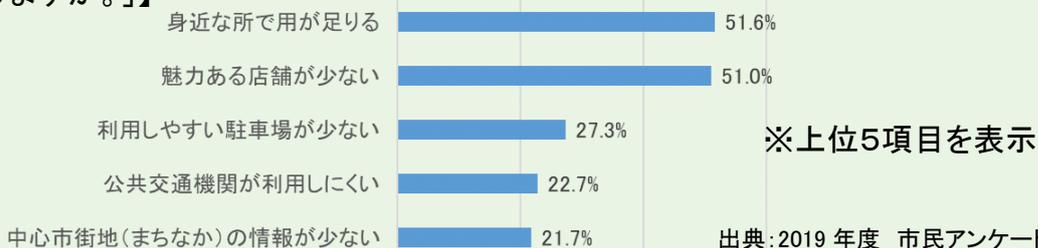
関連データ等

【歩行者・二輪車通行量】



【市民アンケート「中心市街地(まちなか)に行かない理由として、どのようなものがありますか。」】

出典: 商店街通行量調査



施策の方向性

(1) 官民連携のまちづくりにより、まちなかの魅力を高めます

- アーバンデザインの実現に向けた官民連携によるまちづくりの推進
- リノベーションまちづくりの促進
- まちなか公共空間の活用促進

成果
指標

商店街通行量調査による歩行者・二輪車通行量



※2年に一度の調査のため、目標値を2023年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 官民連携まちづくりへの理解・協力
- まちなかの魅力創出に向けた活動への参画

企業・団体

- 民間の強みを活かしたまちづくりの推進
- まちなかの魅力創出に向けた活動の検討及び事業化

行政

- 都市再生推進法人の活動支援
- まちなかの魅力創出に向けた活動の支援
- 国の制度活用・規制緩和

(2) 多様な世代が住みやすく、にぎわいと活気のあるまちを目指します

- 老朽化建物や低利用地の更新によるまちなか居住の促進と都市機能の誘導

成果
指標

前橋市市街地総合再生計画に基づき、再開発事業等により、整備された居住世帯数(累計)



市民、企業・団体、行政の役割

市民

- まちづくりへの積極的な参画
- 土地、建物の有効活用

企業・団体

- まちづくりへの積極的な参画
- 新規事業への参画

行政

- 再開発制度等の情報発信と啓発活動
- 事業実施に伴う支援及び指導

(3) 景観に配慮し、広瀬川河畔を人が集える空間として再生します

- 河畔資源を活かした質の高いまちなみ景観の創出
- 緑地・市道の一体的な改良整備
- 市民によるイベントの開催

成果
指標

広瀬川河畔の整備面積 (0.45ha) の進捗状況



※2018年から上記事業を開始したため、実績値を2018年とするもの。

広瀬川河畔沿道の実店舗と可動式店舗数



※可動式店舗はキッチンカー等の出店

※2018年から店舗数の計測を開始したため、実績値を2018年とするもの。

市民、企業・団体、行政の役割

市民

- 維持管理等の地域ボランティア活動への参加
- イベント等の企画・運営

企業・団体

- 新店舗の出店・広報活動
- 維持管理等の地域ボランティア活動への参加

行政

- 人が憩える場所の提供
- 改良整備の主導
- 市民企画の活動支援

【関連する個別計画】 県都まえばし創生プラン、前橋市アーバンデザイン、前橋市中心市街地活性化基本計画、都市再生整備計画、前橋市都市計画マスタープラン、前橋市立地適正化計画、前橋市市街地総合再生計画

